

きみたちは、未来のチカラだ

 一般社団法人 パブリックサービス

General Incorporated Association
Public Service

私たちパブリックサービスは、
「地域社会に貢献する」一般社団法人です。

私たちの仕事は、おもに国が行う社会基盤施設整備を円滑かつ確実に進められるように、
さまざまな専門分野において技術力を提供し、高い評価を得ています。
また、これらの仕事を通じて、これまで蓄積してきた専門技術力を次世代へ継承していきます。

Message

職員のメッセージ

企業プロモーションビデオ



<https://www.giaps.or.jp/hp-1/recruit/video.html>



人を育てる、恵まれた職場環境に感謝

心配性なものですから、就職活動では採用担当の方に、積極的に質問しました。こんな質問して良いのかなという内容でも、構わず聞いていました。そんな中で、パブリックサービスの方は良いところも、悪いところも、包み隠さず正直に答えていただいたという印象を持ちました。こういう方がいる職場なら大丈夫だろうと思い、お世話になることを決めました。1年目が積算技術業務で、2年目は資料作成業務をしています。相談する上司は変わりましたが、どちらの方も優しく親切で、丁寧に教えていただけますので、安心して仕事ができます。仕事のモットーは、『期限は守る』です。一つの仕事を何分割かする計画を立て、出来た、出来ないをチェックします。出来ないときは、なぜ出来なかったかを考え、全体で計画通りに進められるようにしています。



なか かわ しおり
中川 菜里さん | 名城大学卒

自分に合ってると思った第一印象、それは今も変わらない

1年目は河川の積算業務で2年目が道路の積算業務、3年目が河川の資料作成業務でした。今は事業所が桑名から多治見に、併せて業務も砂防調査の資料作成業務に変わりました。業務が毎年変わって大変なようですが、「分からないことは聞く、聞きにくいことも遠慮なく聞く」の方針で来ましたので、自分なりにこなせてきたと思っています。実際、相談しやすい職場ですし、上司からも色々話しかけてくれるし、優しい人たちがばかりです。積算技術業務、資料作成業務を経てその先を考えると、やはり色々な業務を経験することが大切です。資格取得にもチャレンジしていますし、就職前に描いていたこんな技術者になりたいというイメージ通りに来ています。「私の居場所はここだ」と感じた、第一印象は正しかったと思っています。



おが かわ ゆすけ
小川 雄右さん | 大同大学卒

自主性を重んじる教育を実感している



ごとう りつ き
後藤 立樹さん | 愛知工業大学卒

「発注者支援業務」に魅力を感じてパブリックサービスを調べたら、6つの業務があり、技術者としての選択肢が多いことも、入るきっかけとなりました。現在は積算技術業務ですが、結構密集スケジュールを立てて仕事を進めています。社会人になる前は、自身をかなり大雑把な性格だと思っていたんですが、きちんとできる自分を発見して驚いています。パブリックサービスの良い所は、「過保護でない」点です。1から10まで教えるのではなく、1から3程度教えておいて、後は任せるということです。残りは自分で考えるしかありませんから、自主性を大切にしてくれます。大学の同級生と話す機会もありますが、上司など人間関係への愚痴が多い。パブリックサービスに入れば分かりますが、そんなことは皆無です。上司を信じて、頼り切って大丈夫です。

東日本大震災がきっかけとなって土木に興味を

小学6年生の時に東日本大震災のテレビ番組を見て、最初に被災地に入ったのが土木の方たちで、緊急車両を通すための道路を確保するためだと知りました。また、暮らしに欠かせない大きなものを造るという仕事にも魅力を感じ、土木に進む決心をしました。今年から工事監督支援業務になりました。「現場の仕事を覚えたい」と、私から志望しました。工事監督支援業務では発注者や施工会社、さらには地元の方たちとの間に立つこともありますから、コミュニケーション力が求められると感じています。就職活動では、できるだけ長く仕事を続けたいと考えていたので、女性が働きやすい職場環境が整っているパブリックサービスに決めました。また、「パブリックサービスを支えているのは、人です」のスローガンにも大変に共感しました。



かわ せし あず さ
川岸 朱沙さん | 中部大学卒業

一生懸命やっていれば、出来るようになってくれる職場

1年目が積算技術業務、2～3年目には資料作成業務、現在は最初の積算技術業務に戻りました。1年目の先輩の作業を補助するだけとは異なり、現在は1つの仕事を全て担当し、自分で考えながら作業を進めています。未来の後輩たちの中には、私もそうでしたが「仕事がきちんと出来るだろうか」という不安を抱く人がほとんどだと思います。しかし、パブリックサービスなら先輩たちもしっかり見てくれますので、一生懸命に頑張っていれば、出来るようになります。安心して下さい。その様に指導してくれた私の元上司だった方は、指示の出し方の的確さ、素早い状況判断、この仕事なら誰にも負けないという得意分野を持つなど、私の理想とする技術者像であり、その姿に近づける様に日々努力をしています。



つぐ み いっ しん
露木 一心さん | 日本大学卒

組織全体で、若手の人材育成に取り組んできた成果

パブリックサービスでは、2014年から新規学卒者を積極的に採用するようになり、特に若手の人材育成には力を入れてきました。こうした組織全体の取り組みもあり、若手職員からは「何でも相談でき、聞きやすい職場」とか、「上司、先輩に恵まれている」などの声が、多く聞かれるようになりました。私自身も、若い時に悩んだことや、失敗談などのエピソードを交えながら話すように心がけ、若手職員が「この人なら」と心を開いて相談してくれる環境づくりに努めています。パブリックサービスのスローガンは「人材を人財へ」です。職員という人(=財産)があって初めてパブリックサービスの現在、そして未来があるということです。皆さんもパブリックサービスの人財として、また発注者の良きパートナーとなって、地域社会に貢献しませんか。



おは し かず てる
企画部事業管理課長 大橋 一輝さん | 名城大学卒



中部の発展に貢献することが、 私たちの想いです。

「社会基盤施設の整備を『土台』から支える」

生活や産業の基盤となる社会基盤施設整備は、
計画から設計、施工、完成した構造物の維持管理等、
多様な事業があり、そこには多大な時間と労力がかかります。
そんな社会基盤施設整備を支援するのが私たちパブリックサービスの仕事です。
私たちは、おもに国が実施する様々な事業が、円滑かつ的確に進められるよう、
積極的な取り組みを展開しています。

社会貢献

- 安全・安心な社会の実現
- 地域社会の発展に寄与



伊南バイパス4号橋



矢作ダム



木曾三川



菟洞沢砂防堰堤

- 社会基盤施設整備の支援

【事業の概要】 中部地域の社会基盤施設整備をサポートする6つの業務を柱に活動

〈資料作成業務〉

公共機関の各事務所でいう諸業務の全般的な支援

- ①設計業務・調査業務の成果、工事に関する資料等の整理、調査・計画・管理に必要な資料の作成
- ②工事等の発注に伴う設計図面、数量等のとりまとめ
- ③公共事業を行う上で必要となる関係者や関係機関との協議・調整に必要な資料の作成

〈用地補償支援業務〉

公共事業の施行に伴う公共用地交渉を中心とした用地取得事務処理を総合的に支援

- ①公共用地取得計画図書の作成
- ②関係住民等への補償方針の説明
- ③公共用地交渉の実施

〈積算技術業務〉

公共工事の発注に伴う工事価格の算出

- ①工事予定箇所の現地調査
- ②工事発注用図面の修正
- ③工事発注に関する数量のとりまとめ
- ④工事発注に必要な工事価格の算出



〈公物管理補助業務〉

河川の点検および河川・ダム・道路の管理における事務手続きの補助

- ①車両及び徒歩による河川及び河川管理施設等の点検
- ②河川法に基づく各種申請書類・届出の受付・協議・審査の補助
- ③ダム・貯水池及び関連施設等に関する操作・監視・情報連絡等の支援
- ④道路法に基づく各種申請書類の受付・協議・審査、指導取締り等の補助
- ⑤災害時、緊急時における各種データ収集や対応

〈工事監督支援業務〉

公共工事の施工に伴う工事監督の支援

- ①工事の施工状況、使用材料の照合確認
- ②工事の施工に必要な書類の確認及び作成
- ③地元及び関係機関との協議、調整の支援
- ④工事検査等への臨場

〈技術審査業務〉

公共工事の施工業者選定に伴う各企業からの提出資料に対する分析・整理

- ①工事入札参加企業の総合評価に関わる資料に対する確認
- ②工事入札参加企業の技術提案または施工計画に対する分析・整理
- ③工事入札参加企業の評価に関する一覧表の作成

「進化へのチャレンジ」3C(トリプルシー)プラン

3C(トリプルC)プラン策定のねらい

パブリックサービス(以下PS)は平成22年の法人設立以来、「人材を人財へ。PSを支えているのは、人です。」のスローガンのもと、発注者支援業務の受託を中心に事業と組織の急拡大を進め、発注者に信頼されるパートナーとしての地位確立に取り組んできました。

そして、今後もPS設立の目的に沿いつつ、様々な社会変化に的確に対応することにより、発注者の良きパートナーとしての役割を担う存在でありたいと考えています。

そのためには、PSがこれから「どのような方向に進むべきか」、「何をしなければならないのか」を明確にし、組織と職員が一丸となって進むべき道しるべが必要であると考え、このプランを策定しました。

これからのPSが目指す方向

「成長」から「進化」へ

パブリックサービス(以下PS)の設立からこれまでの約10年間は、事業量と組織の拡大を続けてきた「成長」の時代でした。そして、これからのPSが目指す姿の基本は、「これまでの10年間で土台にPS設立の目的に沿った様々な社会変化に的確に対応し、発注者(顧客)に高品質の技術サービスを提供できる存在であり続けること」です。そのため、現在のPSの主力事業となっている発注者支援業務の受注を柱に据えた法人経営を進め、その上で以下の2つの方向へ「進化」して行きます。

PSの目指す2つの進化

方向1

顧客からの揺るぎない信頼を獲得するため、更なる技術力の向上と、高機能の技術サービスを提供できる組織へと進化します。

方向2

PSが培った技術力を活かし、新たな業務の受注や新たな事業に取り組むなど、PS設立の目的に沿った活動の幅を広げ、これまで以上に地域社会の発展に貢献できる法人へと進化します。

2つの進化を実現するための3つのChallenge

Challenge 1

技術を磨き、継承し、人材を育てよう



Human Resources

Challenge 2

DXへ果敢に挑戦しよう



Digital Transformation

Challenge 3

多様性を尊重し魅力と働き甲斐のある職場を創造しよう



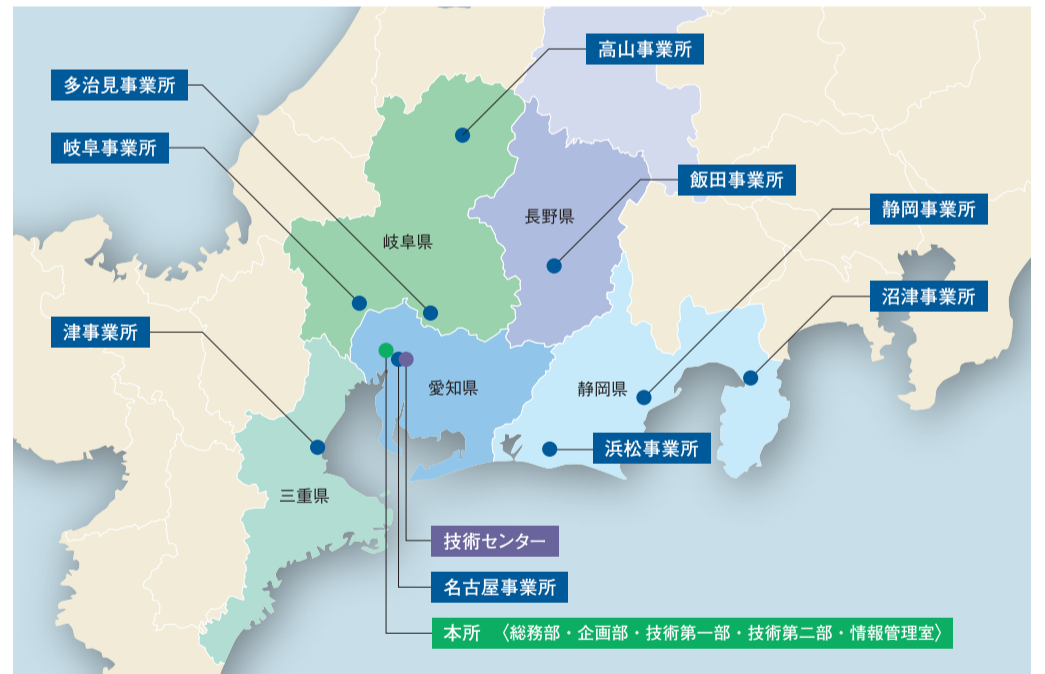
Respect for Diversity

【事業所 / 連絡所】

中部5県に11の拠点を設け、
地元に着目した
事業を行っています。

職員の主な出身校

名城大学、愛知工業大学、中部大学、大同大学、日本大学、金沢工業大学、福井工業大学、東海大学、名古屋工業大学、信州大学、山梨大学、岐阜大学、静岡大学、立命館大学、大阪工業大学、千葉大学、岡山大学、高知大学、大阪産業大学、中央大学、東北工業大学、広島工業大学、東海大学、東洋大学、愛知大学、愛知学院大学、南山大学、岐阜工業高等専門学校、豊田工業高等専門学校、長野工業高等専門学校、東海工業専門学校、名古屋工学院専門学校、愛知工業高等学校、岡崎工業高等学校、豊橋工業高等学校、岐南工業高等学校、大垣工業高等学校、岐阜総合学園高等学校、岐阜工業高等学校、中津川工業高等学校、飛騨高山高等学校、高山工業高等学校、久居農林高等学校、相可高等学校、津工業高等学校、四日市中央工業高等学校、沼津工業高等学校、静岡県立科学技術高等学校、島田工業高等学校、浜松工業高等学校、飯田OIDE長姫高等学校 他



技術センター	〒456-0006 名古屋市中区錦二丁目2番22号 Sonosaki エ金山3階	TEL: 052-829-0081 FAX: 052-829-0082
沼津事業所	〒410-0804 沼津市西条町161 カーニープレイス沼津ビル2階	TEL: 055-941-9436 FAX: 055-941-9437
静岡事業所	〒420-0034 静岡市葵区常盤町二丁目13番地の1 住友生命静岡常盤町ビル7階	TEL: 054-260-5263 FAX: 054-260-4618
浜松事業所	〒430-0803 浜松市東区植松町265番地15 嶋貸事務所2階	TEL: 053-581-8087 FAX: 053-581-8149
名古屋事業所	〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目14番18号 A-PLACE 金山4階	TEL: 052-842-9801 FAX: 052-842-9891
津事業所	〒514-0008 津市上浜町六丁目175番地	TEL: 059-273-5695 FAX: 059-273-5697
岐阜事業所	〒500-8362 岐阜市西庄2丁目4番15号	TEL: 058-214-2561 FAX: 058-214-2562
多治見事業所	〒507-0804 多治見市坂上町六丁目33番地	TEL: 0572-44-7661 FAX: 0572-44-7674
高山事業所	〒506-0055 高山市上岡本町三丁目418番地 垣越ビル3階	TEL: 0577-62-9241 FAX: 0577-62-9251
飯田事業所	〒395-0001 飯田市座光寺4601番地1 レンタルオフィスU 2階	TEL: 0265-52-9141 FAX: 0265-49-6011

法人の概要

名称	一般社団法人パブリックサービス
所在地	名古屋市中区錦二丁目2番22号 名古屋センタービル別館
職員数	552名(令和4年4月1日)
資格保有数	技術士 5名 / 技術士補 81名 / 1級土木施工管理技士 242名 / 2級土木施工管理技士 48名 / 測量士 52名 / RCCM 26名 / 公共工事品質確保技術者I 13名 / 公共工事品質確保技術者II 82名 / 一級建築士 3名 / 1級建築施工管理技士 10名 / 1級電気工事施工管理技士 13名 / ダム管理技士 12名 / 補償業務管理士 4名 / 河川維持管理技術者 9名 / 河川点検士 62名
設立目的	建設技術等に関する事業を行うことにより、建設事業の推進と地域社会の発展に寄与すること
登録関係	建設コンサルタント(建29第9909号) 一級建築士事務所((い-30)第12656号) 労働者派遣事業(派23-302370号) 補償コンサルタント(補31第5051号)

